

平成 28 年度 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業  
中間・事後評価委員会 議事要旨（池田班に関するもの）

○ 日時 平成 29 年 1 月 18 日（水） 17:15～19:15

○ 評価委員

委員長 倉根 一郎 国立感染症研究所 所長

副委員長 遠藤 弘良 聖路加国際大学公衆衛生大学院設置準備室長

委員 後藤 元 結核予防会複十字病院 院長

中西 好子 葛飾区保健所 所長

野田 公俊 千葉大学大学院医学研究院病原細菌制御学 教授

○ 研究課題名 子宮頸がんワクチン接種後に生じた症状に関する治療法の  
確立と情報提供についての研究

○ 研究代表者 池田修一 信州大学 特任教授

○ 研究期間 平成 28 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日

○ 議事要旨

池田氏の研究発表については、国民に対し誤解を与えたことから、書面  
審査だけではなく、ヒアリングによる評価を実施。

◆ 評価委員からのコメント

（研究の進め方などについて）

- ・ 例えば 1 匹で、 $n = 1$  だとか、発表の仕方というのはいろいろあるの  
だと思うが、発表の仕方を含めた、研究そのものの進め方を十分考え  
てやるべきである。

（倫理指針の遵守について）

- ・ 研究実施に必要な倫理的な手続きが事前に行われているかどうか確  
認すべき。
- ・ 動物実験等の実施に関する基本指針についても十分考慮すること。

(その他)

- ・ 全国の神経内科医から構成される診療ネットワークの研究班体制を組んで、治療法の開発に繋げようとしている点は評価出来る。
- ・ 研究不正があった訳ではないことや、もともと3年間での研究計画をたてていたため、科学的な評価を行うためにも、もう一年は研究の経過を見るのがよいのではないか。